

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#) > 8月2日放送分 不可能を可能に！～オリジナリティ重視の医療機器開発～

8月2日放送分 不可能を可能に！～オリジナリティ重視の医療機器開発～

8月2日(TX・TVO・TSC)

3日(TVA・TVH・OX・TVQ・RCC・TVQ・OTV)

4日(BSJ)

大研医器株式会社(資本金9,500万円、従業員数64名)は、医療現場の最重要課題の一つである「院内感染の防止」をテーマに、無菌・細菌制御製品などの医療用機器を開発・製造している。人まねを排し、新たな技術にチャレンジする従業員の自主性を尊重して、医療現場の悩みを解決するための独創的な製品を開発する当社の姿を紹介する。

不可能を可能に！

～オリジナリティ重視の医療機器開発～

[視聴覚教材No. TV15-18](#)



今日志垣さんが訪問するのは、携帯型の便利な点滴を開発した大研医器(株)。果たしてどんな会社なのか。

志垣さんを迎えてくれた社員の方の名刺には「クーデック」の文字が。何かと尋ねてみると「クーデター・バイ・テクノロジー＝技術革新」を略した当社のブランド名だという。



こちらは、「攻撃的にやれば不可能はない。」と"挑戦"を大事にしている山田社



長。

この社長室や廊下、会議室など会社内はゆったりとした作り。この環境の中で、社長も社員も既成概念に縛られず伸び伸びとアイデアを考えることができる。

POINT: 「広い空間がモノを考えるには良い」「既成事実や既成概念に縛られず常に疑問を持つ！」



これが小型化、軽量化、低価格化を実現した携帯型薬剤注入器。注入量が細かく調節できる優れた製品。山田社長は開発にあたって工作しながら新しい発想をするという。

POINT: 「工作によって新しい発想が生まれる」



「とにかくやりなさい！」と言われると工作室の社員は話す。それは、「何回失敗しても良い。やってみなければわからない。」という信念が山田社長にあるからこそ。

POINT: 「失敗する勇気のない人は物まねしかできない」





開発した製品の実験。製品も実験器具もオリジナルのモノばかり。後発メーカーは独創的でなければならぬと山田社長は語る。

POINT:「あくまでオリジナルにこだわる」



商品開発部の山田専務。「この部署は目立つことをしたがる、人と同じ事をしない人間が多い。世間と逆のことをやっても商品を作る自信がある。こういう環境が大事」という。

POINT:「環境が良くないと能力が引き出せない」



工作、実験、開発ときて最後に志垣さんは生産工場を見学。一品一品検査をして100%不良品を出さないことを実践している。



山田社長の自伝を書いた加藤氏(中央)との対談の中、「有能な人材、結集力、そして意志の強さが不可能を可能にする。」と山田社長は語った。



[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN